

令和7年度「県大へ行こうー授業公開週間ー」公開科目・概要

コミュニケーション障害学コース

No.	実施日	時間	授業科目	担当教員	受入予定人数	教室	授業概要記入欄
1	7月22日（火）	9:00～10:30	認知系障害学概論Ⅱ	津田哲也 坊岡峰子	6	4103	言語聴覚士に言語面の相談やリハビリテーション処方があった際には、どのような言語の問題がどの程度ありそうかといった大まかな検査（スクリーニング検査）を行います。言語聴覚士を目指す学生が、患者役・検査者役となって学生同士で実際に検査の演習を行います。
2	7月23日（水）	9:00～12:10	認知系障害学演習Ⅲ （支援）	坊岡 峰子	8	4209	認知症の種類や症状および言語聴覚士の専門性を活かした支援について講義を行います。また、認知症のスクリーニング検査である、MMSE とHDS-Rの実施について、学生同士で演習を行います。本学の学生には授業の当日までに、指定する認知症に関する動画の視聴を課題としますので、参加者にもURLをお知らせする予定です。
3	7月23日（水）	13:00～14:30	耳鼻咽喉科学	田口 亜紀	6	1315	嚥下(のみこみ)のしくみ、嚥下機能の評価・検査、嚥下障害をきたす疾患・治療についての講義を行います。
4	7月23日（水）	14:40～17:50	聴覚系障害学演習Ⅰ （基礎聴覚検査）	長谷川 純	8	4103	言語聴覚士が聴覚障害のある人を支援するために必要な聴覚検査について、検査の理論や実施方法を小グループに分かれての演習形式で学ぶ、2年生対象の科目です。この日は、音の高さごとにその人がどれぐらい小さな音まで聞こえるかを測定する「自記オーディオメトリー」と専用の機器を使って内耳の機能を測定する「OAE（耳音響放射）」の2つの検査の演習を行いません。
5	7月31日（木）	9:00～10:30	発達系障害学演習Ⅲ	堀江 真由美 小島 理恵子	6	4209	言語聴覚士は、言語・コミュニケーションに課題のあるお子さんに対して、音声言語のみでなく多様なコミュニケーション手段を活用し、参加の可能性を広げる支援を行います。その支援方法の一つとして、各学生がスマートフォン等のアプリケーションの活用方法を調べ、具体的な使用場面や使用方法について発表を行います。